

令和6年度 第4回鳴門市スポーツ推進審議会 議事録

【日 時】 令和7年2月18日（火） 15時00分～15時30分

【場 所】 本庁舎3階 会議室305

【議 題】 第2期鳴門市スポーツ推進計画（案）及びパブリックコメントの実施結果についての策定について
第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定について（答申）（案）について
第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定についての答申

【出 席 者】 ①委員12名
中田委員／佐伯委員／豊崎委員／矢川委員／松井委員／大黒委員／
立石委員／神田委員／山本委員／西上委員／堀江委員／佐藤委員
②オブザーバー1名
 笹川スポーツ財団 鈴木氏
③鳴門市4名（事務局）
 小椋市民生活部長／尾山スポーツ課長／藤本副課長／織田係長

【会議概要】 以下のとおり

事務局：議事第1号～第2期鳴門市スポーツ推進計画（案）及びパブリックコメントの実施結果について説明～

松井会長：ありがとうございました。第2期鳴門市スポーツ推進計画(案)については、前回の第3回審議会で委員の皆様からいただいた意見を反映した修正がなされているという説明でした。それから、パブリックコメントについては2件とも非常にありがとうございました意見を頂戴しましたけれども、推進計画の内容を変更する部分は特になかったということで、今後の施策に活かしていくということでありました。

これに関して、委員の皆様からご意見はございませんでしょうか。

(特に意見上がらず)

松井会長：前回出していただいた意見は、ほぼ反映されているということですので、第2期鳴門市スポーツ推進計画（案）につきましては、推進審議会として決定してよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

松井会長：ありがとうございます。それでは、こちらを当審議会における第2期鳴門市スポーツ推進計画（案）として決定させていただきます。

続きまして、議事第2号「第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定について（答申）（案）」について、皆様にご確認いただきたいと思います。

書面をご覧ください。この一枚物の答申（案）です。この内容をよく読んで下さい。この後、市長にこの文面を読み上げて答申するのですが、ご意見ございませんでしょうか。少し時間を取りますので、目を通して下さい。

「第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定について（答申）（案）」の文面について、間違いはございませんでしょうか。

全委員：異議なし。

松井会長：はい、ありがとうございます。それでは皆様のご了承を得られたということで、事務局は（案）の表記を消して答申書の作成をお願いします。

以上で、本審議会で諮詢されました、第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定についての審議は全て終了いたしました。委員の皆様には熱心な議論をいただいたこと、また審議会の円滑な運営にご協力いただいたことについて、改めてお礼申し上げます。

ありがとうございました。昨年の6月に始まり、8月の書面会議、11月の会議、そして今回で第4回目を迎えました。委員の皆様それぞれの立場からでないと出していただけないような貴重な意見を審議会に反映していただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻します。よろしくお願ひします。

事務局：はい、ありがとうございます。会長をはじめ、委員の皆様には長期間、当審議会にご尽力賜りまして、誠にありがとうございました。

この後、引き続き市長への答申を行います。少し準備をさせていただきますので、委員の皆さんにおかれましてはこのまま今しばらくお待ちいただければと思います。

（小休止）

事務局：大変お待たせいたしました。それでは再開させていただきます。

ただいまより、鳴門市スポーツ推進審議会から市長への答申を行います。市長は前にお進みください。

松井会長：第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定について（答申）。鳴門市長 泉 理彦 殿。令和6年6月6日付け、鳴ス第24号で当審議会に諮問されました第2期鳴門市スポーツ推進計画の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり「第2期鳴門市スポーツ推進計画（案）」を取りまとめましたので答申いたします。

今後、鳴門市がこの答申を踏まえ、着実にスポーツ推進施策に取り組まれますよう要望いたします。令和7年2月18日 鳴門市スポーツ推進審議会 会長 松井 敦典。

事務局：それでは、泉市長よりご挨拶をいただきます。

泉市長：はい。只今、第2期鳴門市スポーツ推進計画の答申をいただきました。ほんとうにありがとうございます。皆様方におかれましては、昨年から議論をしていただきまして本当にありがとうございます。長期間にわたって侃々諤々とお話ををしていただいたと聞いております。

様々な思いや意見を言っていただいて、その中でしっかりとまとめていただいたという結果であります。鳴門市におきましては、平成13年から財政再建をずっと進めておりまして、平成26年あたりまで非常に厳しい状態でございました。

ほとんど投資的なことは出来ておらず、また耐震化の方に主に力を注いでおりましたので、今日、皆様が審議をしていただいたスポーツに関しての施設等については、老朽化や設備等が揃っていない状況があったと思います。この中でも書かせていただいたりますが、施設の整備・再整備等を含めてこれから進めてまいりたいと思っております。また、鳴門市の子ども達や市民の皆様方がどれだけ歴史的にスポーツに取り組んできたか十分わかっておりますので、令和5年の4月から鳴門市ではスポーツ競技全国大会等出場激励金制度をつくりました。以前は子ども達が中心でしたが、この制度につきましては社会人の皆様方も全国大会に出場される方につきましては、しっかりと支援していくという制度です。ひとり1万円、チームとして上限20万円までを設定しておりますので、20人まではご支援ができるという制度でございます。約2年間進めてまいりましたが、延べ人数で現在535名の方をご支援しております。その方達が全国大会に挑戦されているということなので、これからもこのようなことを踏まえ、しっかりとお支えをしていきたいと思います。また、鳴門には3つのプロスポーツもございます。サッカー、野球、そしてバスケットも鳴門に来ていただけることになります。そのことを見ながら、また新たなスポーツ振興が増えていくということ、さらにボートレース場に

はアーバンスポーツということで、スケートボードであるとか、ボルダリング等もございます。そういうものも含めて、スポーツ人口が増えていけばよいのかなと思います。さらに、翌年には自転車道が開通して、そちらの方も利用者が増えていくかと思いますので、今回答申をいただきましたこのスポーツ推進計画をしっかりと実行できるようにしていきたいと考えております。最後になりますが、先だって発表が一部漏れておりますけれども、温水プールと、市民会館に代わる体育館につきまして、鳴門のボートレース場の内側が最有力候補であるということで今お聞きしておりますので、今後議論を進めながら早急につくるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げまして私からの感謝の言葉と代えさせていただきます。ありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。先ほど会長から市長に答申いたしました第2期計画（案）につきましては、3月頃に市の計画として正式に決定させていただき、委員の皆さまをはじめ、関係先に配布させていただくとともに、本市の公式ウェブサイトにて公表する予定としております。また、この第4回審議会の議事録につきましては、これまでと同様にご郵送させていただきますのでご確認のほど宜しくお願ひいたします。皆さま方におかれましては、今後とも本市のスポーツ行政にご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上をもちまして第4回鳴門市スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。